



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 63 / 2012年3月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第63号をお届けします。

【1】アンテナの歴史委員会主催講演会開催のご報告

2012年1月18日九州工業大学で開催されたアンテナ・伝播研究会において「放送アンテナ技術の発展とスーパーハイビジョン時代への課題」と題し、放送衛星システム(B-SAT)の正源和義氏によるアンテナの歴史委員会主催講演会を行いました。1月研究会は3日間開催(計41講演)であり非常に多くの皆様にお越しいただきました。講演内容は放送アンテナ技術の概要、放送用衛星通信技術、スーパーハイビジョン技術、さらに完成間近の東京スカイツリーの話などを御自身の研究歴も交えながら非常にわかりやすくお話しいただき、聴講者からは拍手が鳴りやみませんでした。講演資料は歴史委員会HP(<http://ap.ei.tuat.ac.jp/>)で公開中です。当委員会では2012年7月研究会において次の講演会を計画しており、KDDI研究所の野本真一氏にご講演いただく予定です。

また、当委員会ではアンテナ資料の収集を行っております。まだ当委員会のデータベースに登録されていないアンテナがありましたら、上記HPよりご登録ください。



【2】AP研4月研究会のお知らせ

4月19日(木)、東北大学片平キャンパスにおいて、研究会を開催します。下記のチュートリアル講演と特別講演を予定しておりますので、奮ってご参加下さい。

[チュートリアル講演]

・平松勝彦・星野正幸(パナソニック): 移動通信の標準化動向とその実現上の課題について

[IEEE AP-S Japan Chapter/AP研特別講演]

・澤谷邦男(東北大): プラズマ中のアンテナの研究

【3】アンテナ伝搬基礎講座(第6回)

本基礎講座は、大学のアンテナ伝搬関係の研究室に配属された方、企業においてこれからアンテナ伝搬関係の研究開発を始めようとしている方、既に研究開発に従事されているが基礎力の強化を図りたいと考えておられる方などを主な対象として開催しています。

内容:1日目:電磁気学の基礎(新井), 伝送線路の基礎(木村)

2日目:アンテナの基礎(長), 基礎的伝搬と移動伝搬の基礎(岩井)

日時:2012年5月17日(木)・18日(金) 9:45~17:00

場所:横浜国立大学 教育文化ホール 中会議室

詳細は<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/> アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(一覧)を参照してください。

【4】副委員長の「言葉にできない」

2月のAP研は二日間、広島で開催いたしました。久しぶりの広島で、またとても懐かしい同級生に会うことができました。1日目の特別講演の講師(山内氏)が、偶然にも私の大学時代の同級生で4年間同じクラスで過ごした友人でした。30年ぶりの再会でしたので、風貌が変わってしまっていて(例えば頭が寂しくなっていたりして)判らないのでは、などと会うまでは期待と不安でいっぱいでした。でも全く変わっていませんでした。彼も同じことを言ってくれて、お互い思いやりがあるな、と感じた次第です。懇親会の2次会の後、二人で広島の夜を堪能しました。山内氏もカラオケが好きで、午前2時過ぎまで思いっきり歌ってしまいました。これもまた“ユニタリな夜”でした。2日目の夜はAP研幹事団で打上をし、しっかりと言葉にできない時間を過ごさせていただきました。感謝です。

さて、先月のこのコーナーで、「とことんユニタリな夜を過ごし、その後はエルゴード(ergodic)な朝をさわやかに迎えたいですね。」と書きましたが、今回は「エルゴード(ergodic)な朝」の解説を致しましょう。エルゴード性とは、よく言われるように、集合平均と時間平均が等しい性質のことです。わかりやすく言えば、例えば、ある大学のクラスの体重の平均値が、そのクラスの一人の学生の体重の年間平均値に等しい、というようなことです。言い方を変えれば、その学生は自分のクラスメート全員のあつ時点での体重を一年間かけてすべて経験する(いつかは自分の最初の体重に戻る)、ということですね。参考までにランダムハウス英和辞典で「エルゴード(ergodic)」を調べますと、「十分長い期間の後に、一つの体系が初めの状態とほとんど同じ状態に戻る条件にあることをいう。」と載っています。ユニタリな夜を満喫した後、「気分新たな状態(初心)に戻り、また頑張るぞ!」という意味で「エルゴードな朝」と表現しました。

以上のように、「ユニタリな夜」に続く第二弾の「エルゴードな朝」ですが、皆さんも普段からセットで使っていただければ嬉しいです。またユニタリ、エルゴードの意味を自然と理解できるようになるかと思ひます、特にAP研究会開催の際には幸せの合い言葉になるかもしれませんよ。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 菊間信良(名工大)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)

AP-NET : AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP : <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

ISAP Archives : <http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/>

